授業科目 生活援助技術III

【担当教員名】 宮下 榮子、星 紀恵子	対象学年	2	対象学科	社会（介護福祉コース必修選択）
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【概要・一般目標：GIO】
 ・自立に向けた居住環境の整備の意義と目的について理解する。
 ・自立に向けた身支度の介護の意義と目的について理解する。

【学習目標・行動目標：SBO】
 ・居住環境の整備の意義と目的について理解し、生活の場作りができる。
 ・身支度の介助についてその技術を実践できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション		2コマ続きの演習形態をとる
2	生活の定義・生活形成のプロセス・生活経営について		
3	生活支援の考え方		
4	ICFの視点に基づくアセスメント		
5	居住空間整備の意義と目的		
6	生活空間と介護（居場所・生活の場・住まいなど）		
7	居住環境のアセスメント		
8	安全で住み心地よい生活の場づくりのための工夫		
9	住宅改修		
10	バリアフリー化とユニバーサルデザイン		
11	施設など集団生活の場の工夫		
12	ユニットケア・居室の個室化・なじみの空間づくり		
13	住環境整備における他職種との役割と協同		
14	身支度の意義と目的		
15	身支度に関する利用者のアセスメント		
16	生活環境と装いの楽しみを支える介護の工夫		
17	整容行動・衣生活を調整する能力のアセスメントと介助の技法		
18	整容1：洗面・洗髪		
19	整容2：ひげ・爪の手入れ		
20	整容3：化粧		
21	口腔の清潔1		
22	口腔の清潔2		
23	衣類の着脱1		
24	衣類の着脱2		
25	視覚機能が低下している人の身支度介助の留意点		
26	聴覚・言語機能が低下している人の身支度介助の留意点		
27	運動機能が低下している人の身支度介助の留意点		
28	知的・知覚機能が低下している人の身支度介助の留意点		
29	他職種の役割と協同		
30	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	未定			
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 筆記試験	【履修上の留意点】 出席状況・筆記試験・レポートなどにより総合的に評価